

重点プロジェクトでの効果検証

- こども家庭庁のEBPMの仕組み（検証プロセスや留意点等）を具体化すべく、モデル事業等における効果検証を試行。
- 今年度は、下記3つを重点プロジェクトとして効果検証を実施。

①保育の質の評価

②未就園児預かり事業

③こどもの自殺対策



プロジェクトでの学びを、EBPMの具体的な検討に活かす

EBPMの仕組み・体制・データ

①EBPMを進めるための仕組み

- ✓ こども家庭庁において、政策形成にエビデンスを用いるにはどうすべきか
- ✓ こども家庭庁において、政策評価を行うインセンティブをどう付与するか
- ✓ こども家庭庁において、政府の既存制度（政策評価、行政事業レビュー等）をどう運用するか
- ✓ こども家庭庁において、EBPMが中長期的に目指すべき姿は何か（DX等）

②EBPMを進めるための体制

- ✓ 国立教育研、国立社会保障・人口問題研、成育医療研究センターとどう連携すべきか
- ✓ 民間の研究機関や団体（大学等）とどう連携すべきか
- ✓ 自治体とどう連携すべきか
- ✓ こども家庭庁のEBPMの組織能力を高めるにはどうすべきか（職員派遣、研修等）

③政府として整備すべきデータ

- ✓ エビデンスを創出しやすい行政データはどのようなものか、どう整備すべきか
- ✓ （次回策定に向けて）大綱で設定すべき指標・データは何か
- ✓ 国際比較の観点で整備すべき統計・データは何か
- ✓ データを収集・蓄積・加工する仕組みをどう構築すべきか

研究会の議論を踏まえて、今年度末に下記について報告書を公表

- ①こども政策のEBPMが目指す姿（仕組み、体制、整備すべきデータ）
- ②目指す姿の実現に向けた工程表

①EBPM重点プロジェクトでの効果検証の推進

- 今後のモデル事業等の効果検証を効果的に進めていく上での学びを得るために、今年度は、
①保育の質の評価、②未就園児の預かり、③こどもの自殺対策を重点プロジェクトとして効果検証を実施。
- 本日は、各プロジェクトの概要を共有し、モデル事業等で効果検証する際にEBPMの観点で留意すべき点等を議論。

②こども関連の調査統計の整備

- 附帯決議において、政府全体で収集すべきデータの精査、各府省庁が連携してデータを収集・分析する環境の構築等を要請。
- EBPM研究会で、政府全体で収集すべきデータを議論し、必要に応じて予算要求。
- 本日は、こども家庭庁の調査統計一覧を参考共有し、新規追加すべき調査統計がないか、大枠を議論（項目等の追加は後日議論）。

③EBPMに関する職員向けの勉強会の実施

- 今年度は差し当たって、行政事業レビューにおいて、各部局が円滑にレビューシートを策定出来るよう、外部講師を招いて、ロジックモデル策定勉強会を庁内で開催。
- 今後のこども家庭庁のEBPMの組織能力向上に向けては、本EBPM研究会において、研修等の在り方を議論していく。

④EBPMアドバイザーとの連携

- 上記の推進にあたり、専門家の知見等が必要な場合は、専門家（EBPMアドバイザー）を都度選定し、ヒアリング等を実施。